

MYANMAR



JAPON

Monthly Magazine
2025
12
vol.150

SPECIAL CONTENT

ヤンゴンは今どうなっているのか ヤンゴン定点観測アーカイブ



COLUMN

ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医
ミャウンミヤからこんにちは! / 名知仁子

ティラワ経済特区ほか

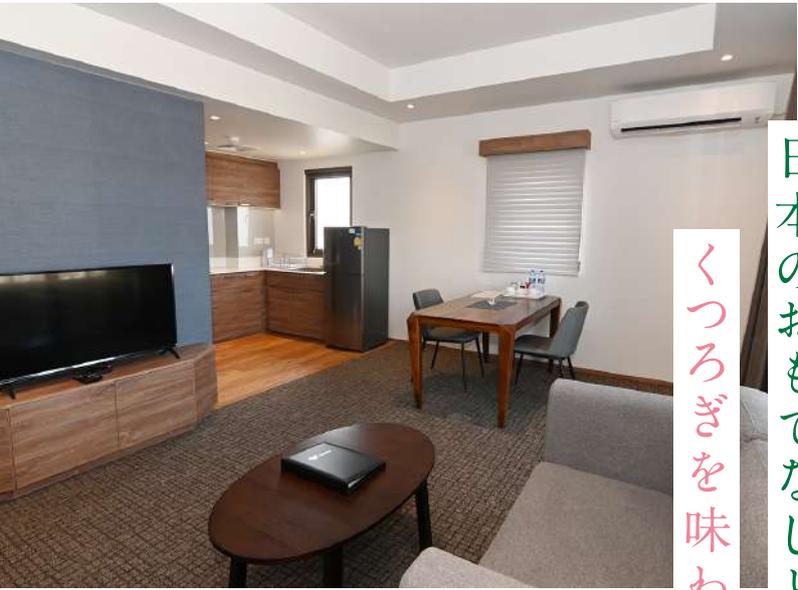
"最新版" ミャンジャポ特製MAP

TAKE FREE



Wishton Hotel Yangon

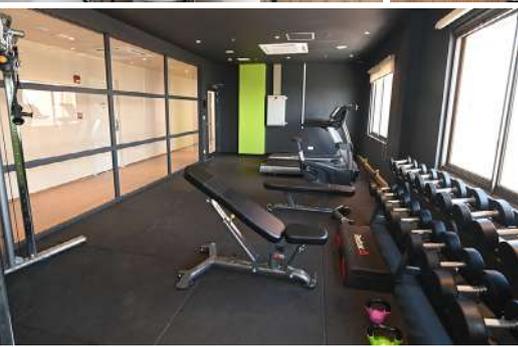
おもてなしNo1をめざして
 これからも、当ホテルはご利用いただいたすべてのお客様に、
 ころころ温まるサービスで、
 快適・安心なくつろぎの空間と時間を提供してまいります。



くつろぎを味わう

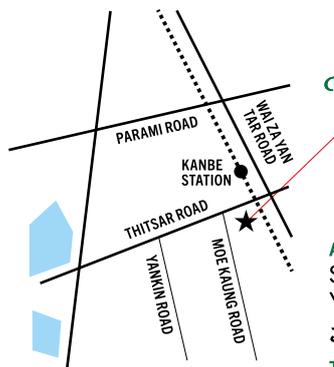
日本のおもてなしと

ヤンゴンで

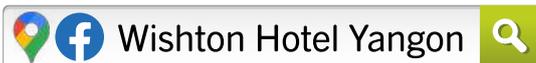


日本人スタッフ、日本人シェフ常駐。 心のやすらぎを感じるホテル

- 客室91室
 (ダブル、ツイン、デラックスダブル、
 デラックスツイン、スイートダブル、スイートツイン)
- キッチン、電子レンジ、洗濯機、ベランダ付きのお部屋もございます
- ランドリー、ジム、オフィス、レストラン、
 カフェ・バー、ミーティングルーム併設
- 長期(マンスリー)のご利用も承ります



ADDRESS No.365 Thitsar Road and
 Shwe Thitsar Street(Corner), No.13 ward,
 Yankin Township, Yangon, Myanmar.
 ご予約・お問い合わせ(日本語対応可) : 9:00-18:00
TEL +95-1-572500 **FAX** +95-1-572887
MOBILE +95-9-8879-94960 (フロント予約直通)





Special Content

**ヤンゴンは今どうなっているのか
ヤンゴン定点観測アーカイブ** 4

コラム ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医 ミヤウンミヤからこんにちは！ 5

NPO法人ミャンマー国際支援機構 (MIAO) 6

ビジネスニュースダイジェスト 8

クーデター関連ニュースまとめ 10

"最新版" ミャンジャポ特製MAP 12

ヤンゴン全域 12-13 シュエダゴン・パゴダ~インヤール湖 (南) 14-15

ダウンタウン周辺 16-17 ティラワ経済特区 (SEZ) ZONE A 18-19

ティラワ経済特区 (SEZ) ZONE B 20

毎月1日発行
ミャンマーの"使える"ビジネス情報誌

MYANMAR
JAPON

電子ブックで利便性向上!
myanmarjapon.com/magazine

くわしくは

<https://myanmarjapon.com>

「MYANMAR JAPON」12月号 vol.150
2025年12月1日発行
MJJ ホールディングス株式会社 CEO 永杉 豊
東京都中央区日本橋3-2-14 新横町ビル別館第一1F
●広告掲載や取材依頼に関するお問い合わせ
Tel: 03-5698-2165 (日本) Email: info@myanmarjapon.com

10年以上のICT業界での経験を活かし、お客様のビジネス課題を解決し、成長をサポートします。
優秀な人材を揃え、低コストで高品質なサービスをご提供しております。

デジタルBPOサービスでお客様のビジネスを発展させる。

サポートされているサービス項目:



ソフトウェア開発



IT およびクラウド サービス



CAD エンジニアリング サービス



ドキュメント チェック サービス



アート & デザイン サービス



**お客様の満足が
私たちの利益です！**

弊社はグローバルなビジネス顧客をサポートしており、日本語でのサポートもご提供可能です。

ヤンゴン 定点観測 アーカイブ



ヤンゴンは今どうなっているのか。最新画像とともに、主要スポットの現在をお伝えする(2025年11月14日撮影)。

撮影日は「国民の日(National Day)」祝日だったため、外出する市民が多かったようだ。軍や警察による警備も厳かった。

タイムズシティ



久々に屋外のイベントエリアで展示販売が行われており、若者やカップルなどで賑わいを見せていた。館内の雰囲気は普段と大きく変わらない。

ボヤニョン通り



渋滞するほどではないが、普段よりも交通量は多め。デリバリーサービスの自転車も頻繁に行き交っていた。

ボージョー アウン サン マーケット



再開した店舗が増えたようで、8割ほどが営業していた。外国人観光客も目立ち、貴金属店で買い物をした姿も。

ヨーミンジー通り



祝日ということで沿道の銀行は全てクローズ。食事をしながら会話をを楽しむ市民が多かったのが印象的。

ミャンマープラザ



吹き抜けエリアでイベントが行われていなかったのは久々。来客数も少なく閑散としており、かなり寂しい様子だった。

レーダンセンター



他の店舗とは対照的にカップルや女性グループが多い。エスカレーターには絶えず人が乗り込み、活気に溢れていた。

ジャンクションシティ



プロモーションエリアでアパレルブランドのイベントが行われ、人だかりが出来ていた。一部では混乱もあったようだ。

ジャンクションスクエア



イベントスペースで中国製SUVの展示会が行われていたが、関心を示す人はほとんどいない。周辺の店舗も閑散としていた。

ガソリンスタンド

高騰した燃油価格もここ数か月は下落傾向が続いている。給油待ちもなく、通りの渋滞も発生していない。





ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医

ミヤウンミヤから こんにちは!



第45回・「ミャンマーを想う心」と「分かち合い」が 未来をひらく

ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(MFCG)代表・医師の名知仁子です。いつも温かい応援をいただき、本当にありがとうございます。

ここミャンマーにいと、先の見えにくい日々心が揺れることもあります。「夢を描くことさえ難しい」そんな声を耳にします。しかし、そんな現実の中でも「未来を諦めない」と奮闘している仲間がいます。今日は、そんな“共働の力”を与えている3つの団体をご紹介します。

医療専門家の育成を支える

日本・ミャンマー医療人育成支援協会

理事長の岡田茂先生をはじめ支援者のみなさんが今年2月と11月にミヤウンミヤの事務所を訪れてくださいました。岡田先生は岡山大学医学部の元教授で、1996年からミャンマーの医療協力を開始。遺伝性貧血症の解析や輸血用血液の肝炎ウイルスのスクリーニング、ピロリ菌の遺伝子解析、甲状腺疾患の病理解析など、数えきれないほどの医療支援と人材育成に取り組んでこられました。

2006年のNPO立ち上げ以降も、医療人材の育成から学校建設まで幅広い支援を継続されています。医療教育の分野はMFCGだけでは担えない。だからこそ、この長年の取り組みがミャンマーの未来に欠かせない“一本の柱”になっています。

子どもたちの未来と心を育む

日本ミャンマー豊友会(JAMAHA)

「日本とミャンマーの子どもたちの未来のために」この理念を掲げて設立された団体です。

日本の子どもたちにはミャンマーを通じて“心の豊かさ”を、ミャンマーの子どもたちには日本の勤勉さや学ぶ姿勢を。両者の交流から“品性ある国際人”を育てることを目指しています。現在は日本語教育に力を入れており、MFCGも学校文具の寄付を通じて活動をご一緒させていただいています。子どもたちの成長を支えるJAMAHAの取り組みは、まさに未来への投資そのものです。

友情の架け橋として活動

日本・ミャンマー友情の架け橋(JANBOF)

2003年設立。三重県松阪市を拠点に、スタディーツアーや交流活動を続け、ミャンマーを愛する多くの会員が支えている団体です。今回、MFCGの活動に強いご共感を寄せてくださり、ありがたいことにご支援をいただけることになりました。

コロナ禍以降は海外交流は難しくなりましたが、それでも「ミャンマーの未来を想う気持ち」を絶やさず活動されている姿に、私たちも勇気をもらっています。

それぞれの団体が担う役割は、まるでジグソーパズルのピースのよう。MFCGだけでは決して到達できない場所へ、仲間と手を取り合うことで歩いていける。

1足す1が10にも30にもなるのが、「分かち合い」と「共働の力」

そう実感する日が増えていきます。ミャンマーを想う心を持つ団体や個人が全国にいる——その事実がどれほど大きな希望を与えてくれているか、ここで改めてお伝えしたいです。

これからも、ミャンマーの人びとの暮らしが少しでも前へ進むように、仲間たちと共に歩んでいきたいと思っています。

そして、読者の皆さまにも引き続きお力をお貸しいただければ幸いです。



▲日本・ミャンマー医療人育成支援協会の岡田理事長(左)



名知仁子(なち さとこ)

1963年生まれ。88年獨協医科大学を卒業後、日本医科大学付属病院第一内科医局入局。2002年、国境なき医師団に入団し、同年タイ・メーソートの難民キャンプ、04年からはミャンマー・ラカイン州で医療支援に携わる。また、03年には外務省のODA 団体、ジャパン・プラットフォームの要請で、イラク戦争で難民となったクルド人の医療支援に参加。08年には、サイクロンで被災したミャンマーのデルタ地域で緊急医療援助に参加する。同年、任意団体ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(現MFCG)設立し、12年6月にNPO法人ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(現MFCG)設立し、現職。



ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会 <https://mfcg.or.jp/>

NPO法人 ミャンマー国際支援機構 (略称:MIAO) を通じて 避難民や民主派団体へのサポートをお願いします

* 匿名でのご支援も歓迎します

ミャンマーの民主化まで匿名を希望される個人の方や企業様はご遠慮なくお申し付けください。当法人が責任をもって厳重に名簿を管理します。



2021年2月1日。ミャンマーで軍事クーデターが発生し、アウン・サン・スー・チー氏や民主派の国民民主連盟 (NLD) の党员数百人が拘束されました。

国民の大多数がこれに異を唱え各地でデモを起しましたが、ミャンマー軍や警察隊はこれを弾圧し、多くの市民が殺されました。

あれから4年半が経ちミャンマー軍と民主化勢力の衝突は激しさを増しています。現在までに多くの犠牲者

が発生したほか、UNHCRによると350万人以上の人々が避難を強いられ、困窮した生活を送っています。状況が悪化の一途をたどる中、私たちは困窮する避難民や民主派団体へのサポートを行うべく、NPO法人ミャンマー国際支援機構を設立しました。

ミャンマーの人々が置かれた厳しい状況を少しでも改善するための活動に対し、みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

WHAT'S HAPPENING

>>> 今、ミャンマーで起きていること <<<

IN MYANMAR

軍による空爆



空爆により多数の死者・避難民が発生

民主化勢力の一部は地方の村やジャングルに潜伏しています。軍はこれに対して空爆を実行。これまでにカレン州、カチン州、カヤー州、チン州や地方管区がおもな標的となり、多くの民家が跡形もなく破壊されました。

多数の避難民



国境付近に多数の避難民が発生 (写真提供:井本勝幸氏)

空爆を始めとする軍の攻撃により、350万人以上が避難を余儀なくされています。国内避難民だけでなくタイなどの国境を超えて逃げる人も数多く、食糧や医療の不足に苦しんでいます。

民主派への弾圧



今も拘束が続くウィン・ミン大統領とアウン・サン・スー・チー氏

軍に捕らえられたアウン・サン・スー・チー氏は汚職や選挙不正など複数の罪に問われています。裁判は非公開で進められ、19の罪状で禁固33年の有罪判決を受け収監されています。

>>> ミャンマー国際支援機構が <<< SUPPORT ACTIVITIES

重視する2つの支援活動

NPO法人ミャンマー国際支援機構は、在日ミャンマー人や日本人社会活動家、衆参両国会議員らとともに設立しました。私達は「人道支援」と「民主化支援」の2つを柱に、未来のミャンマーのために活動していきます。

人道支援

本当に必要とする人々へ食糧・医療支援



モン州における食料支援の様子
(写真提供: 井本勝幸氏)

米や食用油などの支援が多い
(写真提供: 井本勝幸氏)

ミ ャンマーには国際社会から多くの支援が寄せられていますが、軍の監視下で行われる支援が多いため、軍と対立する人々には支援が届かないという問題も指摘されます。その中で、軍の目から逃れ地方へ直接支援物資を届ける活動を続ける個人や団体が存在します。当機構も彼らと連携し、きめ細やかな支援体制の構築を目指します。また、日本に逃れてきた難民のサポートなども積極的に行う予定です。

ミャンマー民主化団体の活動を支援

国民統一政府「NUG」の活動をサポート



ミャンマー民主化勢力訪日団と

今 のミャンマーを取り巻く問題を根本から解決するためには、軍による支配を終わらせて民主主義を取り戻すことが求められます。当機構では、クーデター発生後に設立された国民統一政府「NUG」を支持し、NUG 駐日代表事務所と連携しながら民主化の後押しを進めます。また、日本政府に対して、軍評議会（SAC）をミャンマー政府として認めないように強く働きかけていく活動を進めます。

ミャンマーの困窮者を助けてください

* 少額でも毎月継続のご支援をお願いできれば幸いです。

個人・企業・団体様ご寄付の請求書・領収書の発行はご遠慮なくお申し付けください。

1口 3,000円

◆ 何口でもありがたくお受けいたします ◆

1回サポート / 毎月サポート
お選び頂けます

<https://miao.or.jp/support>

振込先

銀行名 PayPay銀行
支店名 ビジネス営業部(005)
口座番号 普通 6144640
名義 トクヒ)ミャンマーコクサイシエンキコウ

ご入金後、当サイトの「お問い合わせ」より
ご一報頂けましたら幸いです



理事
石橋通宏
(立憲民主党 参議院議員 /
ミャンマーの民主化を支援する
議員連盟事務局長)

代表理事
永杉豊
(MYANMAR JAPON CO., LTD CEO)

理事
逢沢一郎
(自由民主党 衆議院議員 /
日本ミャンマー友好議員連盟
会長)

監事
藤縄善朗
(日本ミャンマー友好協会会長 /
前鶴ヶ島市長)



特定非営利活動法人

ミャンマー国際支援機構

Myanmar International Assistance Organization(略称MIAO:ミャオ)

150-0001 東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号桑野ビル2F

MAIL_ info@miao.or.jp TEL_ 03-4405-0041

(ボランティアを中心に運営するため、極力メールでのお問い合わせにご協力をお願いいたします)

<https://miao.or.jp/>

BUSINESS NEWS DIGEST

ビジネスニュース・
ダイジェスト



日本企業によるミャンマー人採用、 減少続く

駐日ミャンマー大使館は11月13日、日本企業21社がミャンマー人労働者を採用するための求人票(Demand Letter)を提出したと発表した。求人数は171人で、女性のみでの申請だった。

従来、日本からの求人は1回の発表で数百社・千人規模に達していたが、軍政は今年3月から海外派遣人数を制限。9月の発表では3件・15人、10月の発表では5件14人と激減していた。

国家安全保障平和委員会(SSPC)は今年3月以降、日本向けについては送り出し機関1社あたり月15人までとする上限を設けている。このため、日本への出国許可が得られず待機している労働者は数千人規模にのぼるとみられる。

紙価格が異常高騰、 印刷・デザイン業界に打撃

ミャンマー国内で紙価格の高騰が続き、11月上旬から値上がり幅が一段と拡大している。各地のコピー業者や写真・デザイン関連業界の関係者によると、コスト上昇で採算が悪化し、受注量も減少しているという。

現在、A4紙のコピー用紙は1箱133,850 Ks(およそ6,750円)、フォトペーパー(4×6、100枚)は8250Ks、ステッカーペーパー(100枚)は1万8700Ksまで上昇。業者は「価格が従来の3~4倍に跳ね上がった」と悲鳴を上げた。

乾期に入ったミャンマーでは結婚式や寄付行事が増えているが、繁忙期にも関わらず発注数は縮小傾向にあるという。紙質の低下も指摘され、従来使用していた品質の紙が市場から消える例も確認されている。

ミャンマー、人民元建て 直接投資を受入れへ

国家安全保障平和委員会(SSPC)が、中国人民元による直接投資(FDI)の受け入れに向けた準備を進めていることがわかった。

11月8日には投資・対外経済関係省とミャンマー中国商工会との会合がヤンゴン管区投資委員会の事務所で開かれ、関連手続きについて協議が行われた。

同省のワー・ワー・マウン副大臣は、国際貿易金融における人民元の存在感が高まる中、ミャンマーでも人民元による直接投資を認める方向で準備を進めていると説明した。現在、ミャンマーでFDIに使用を認めている

外貨は米ドルのみだが、中国企業による投資について人民元決済を可能にするための調整を行っているという。

日本を含む海外労働者の監視強化、 非公式ルートでの送金で処分

国家安全保障平和委員会(SSPC)は、外貨不足の深刻化を受け、非公式送金ルート「Hundi(ホンディ)」を通じて給与を送金している海外在住ミャンマー人および送り出し機関に対し、取締りと処分を指示した。

労働省は、海外就労者には毎月または3か月に1回、収入の25%をミャンマー国内の家族に送金するよう義務付けており、送り出し機関がその証明を労働省に提出しなければならない。軍政は、海外労働者の給与送金を公式な銀行経路に限定するよう圧力を強めており、ホンディを利用して送金した労働者には「パスポートの更新拒否」「出国禁止」などの措置を取っている。

この政策により、労働者や家族は市場レートより不利な換算で送金を強制され、生活への負担が増している。また、送り出し機関側もライセンス停止のリスクに直面している。

UMFCCI会頭に エー・ウィン氏が再選

ミャンマー商工会議所連盟(UMFCCI)は11月8日、2025~2028年の会頭として現職のエー・ウィン氏を再任した。

エー・ウィン氏は、執行委員や中央執行委員、事務総長などを歴任。2022年の選挙で会頭に選出された。

今回の選挙は10月8日に会員へ電子メールで通知され、10月9日から29日までオンライン登録を通じて投票資格を申請した会員が参加。約2万人の会員のうち投票したのは1,043人で、執行委員80人と中央執行委員が選出された。



©NP News

ヤンゴンでの中国投資、 累計25億米ドル超に

ヤンゴン管区における中国からの投資総額

が、累計で25億米ドル(3,850億円)を超えたことがわかった。ヤンゴン管区政府のミョー・ミン・アウン経済相が11月8日に行われた中国系経済団体との会合で明らかにした。

同氏によると、1988年度から2025年度(9月時点)までに中国企業がヤンゴンで実施した投資案件は451件ののぼり、累計投資額は25億米ドルを突破したという。分野別では運輸・通信部門が最も多く、製造業と不動産・建設業が続いた。

中国企業はヤンゴンに29か所ある工業団地で食品や日用品、化学製品、自動車、太陽光発電などの製造事業を展開しているほか、特別農業区や畜産区でも投資を拡大中。さらに飲食業、公共交通、医療サービス、ホテル・観光業などのサービス分野への投資も呼びかけられている。

ミャンマーとロシア・ノヴォシビルスク州、 貿易拡大で協議

ミャンマーとロシア連邦ノヴォシビルスク州は11月4日、両地域間の貿易拡大および経済協力の強化について意見交換を行った。

ノヴォシビルスク州知事率いる代表団は4日午前、ミャンマー軍トップのミン・アウン・フライン総司令官(暫定大統領)を表敬訪問し、会談した。

会談では、貿易や投資をはじめ、幅広い分野での協力を深化させる可能性について意見が交わされた模様。また、ノボシビルスク州知事は、ミャンマーで今後実施される複数政党制による総選挙を支持する立場も表明したという。



©One News Myanmar

ミャンマー軍政、 韓国企業に新規投資呼びかけ

国家安全保障平和委員会(SSPC)は、韓国からの新たな投資誘致に向けて積極的な呼びかけを行っている。

投資・対外経済関係省のワーワー・マウン副大臣は10月29日、ネピドーで行われた韓国のシンクタンク「ミャンマー・韓国経済安

全保障研究所」代表団との会談で、ミャンマー国内にはすでに韓国企業による投資プロジェクトが複数存在し、韓国ビジネスコミュニティが着実に根付いていると指摘。その上で「新たな投資案件にも積極的に参入してほしい」と述べ、政府としても良好な投資環境の整備に取り組んでいると強調した。

一方、韓国側の代表は、韓国企業がミャンマーでの事業拡大に強い関心を持っていると述べ、ミャンマー投資法に基づく優遇措置や法制度面での支援内容について情報交換を行ったとされる。近い将来、韓国からの投資が拡大する分野についても率直な意見交換が行われたという。

ミャンマー投資委員会(MIC)によると、韓国はミャンマーへの投資額で第6位、貿易額では第9位に位置している。

ヤンゴン管区投資委、4件の新規案件を認可

ヤンゴン管区投資委員会(YRIC)は、10月29日の会合で4件の投資案件を認可した。

認可されたのは、いずれもCMP(裁断・縫製・荷造りする受託加工)方式の縫製業の外資。総投資額は519万6,000米ドル(およそ7億9,000万円)で、3,695人の雇用創出が見込まれる。

会合ではこのほか、10社の増資案件についても審議が行われた。

ヤンゴン証券の10月実績、前月より大幅減少

ヤンゴン証券取引所(YSX)が公表した月次報告によると、上場企業8社の10月の売買代金は530,726,150Ks(およそ2,675万円)で、9月の867,210,650Ks(およそ4,370万円)を大きく下回った。取引高も321,817株から321,817株へと半減した。

報告書によると、MTSHが56,183株(1億9,164万Ks、およそ966万円)で最多となり、

FMIの17,005株(1億3,959万Ks、およそ704万円)、EFRの32,959株(6,135万Ks、およそ309万円)などが続いた。

現在、YSXのメインボードには8社が上場しており、非上場企業に資金調達機会を与える「プレリスティング・ボード(PLB)」市場に1社が参加している。

AYA銀行、海外の送金大手と相次ぎ提携

エーヤワディー銀行(AYA)は10月27日、マレーシアの国際送金サービス企業マーチャントレードと提携し、より迅速かつ安全な送金サービスを提供すると発表した。これにより、マレーシアからAYA Pay口座への直接送金が可能となり、送金完了後すぐに現金引き出しができるようになるという。

送金は、身分証を提示してマーチャントレードの窓口で行うほか、同社のアプリまたはWEBサイトからも手続きが可能。受取りは全国240以上のAYA銀行支店で現金を引き出すことができる。また、AYA MobileやAYA Payアプリを通じ、24時間利用可能なATMやAYA Pay代理店でも引き出せるという。

AYA銀行は先週、米国の国際送金大手マネーグラムとの提携も発表しており、一連の提携により海外からの送金をより迅速・安全に受け取れる体制を強化している。

ヤンゴン国際空港、滑走路改修で一部フライトに影響

ミャンマー国際航空(MAI)は10月29日、ヤンゴン国際空港で滑走路の補修工事が行われるに伴い、一部の運航スケジュールを変更すると発表した。

空港当局によると、補修期間中は毎日午前0時から午前6時まで滑走路を閉鎖する。工事は2025年10月29日から2026年1月1日まで続く予定で、この間、MAI運航便の一部は発着時刻や経路を調整するという。

ヤンゴン証券、ASPGB社をプレリスティング・ボードに登録

ヤンゴン証券取引所(YSX)は、「プレリスティング・ボード(PLB)」市場において株式売買を行う企業として、ASPGB(G.B.S. Agricultural Public Co., Ltd.)の登録を承認した。

YSXによると、ASPGBが提出した申請書類を審査したうえで、証券取引規制委員会(SECM)の承認を経て登録を許可したもの。売買開始日や1株当たりの基準価格は、現時点で公表されていない。

ASPGBは農民と企業が共同で米や豆類、ゴマ、トウモロコシなどを栽培する契約農業事業を展開。作付け拡大や農産物加工、農機具販売なども行う。

YSXは2016年3月に取引を開始。20年9月に非上場企業に資金調達の機会を与える「プレリスティング・ボード(PLB)」市場を始動した。現在、PLB市場には農業関連企業MADPL(Myanmar Agricultural & General Development Public Co., Ltd.) 1社のみが登録している。

ミャンマー国鉄、蓄電池式電気機関車とエアコン付き車両を導入

ミャンマー国鉄(MR)は、バッテリー電気機関車(BEL)とエアコン付き客車を使用した列車を首都ネピドーと第二の都市マンダレーを結ぶ路線で11月22日から運行を開始すると発表した。

列車は1日1往復で、マンダレー発は午前6時、ネピドー発は正午に発車。それぞれ、ヤンゴン発着の列車と接続する。停車駅はタッコン、ピャウブエ、タージ、チャウセーの4駅で、所要時間は停車時間を含め約5時間。運賃は普通席は15,000Ks(およそ750円)、上級席は20,000Ks(およそ1,000円)となる。

経理・労務・税金のご相談

日本人税理士による総合コンサルティング



若松裕子
ヤンゴン所長・税理士



原尚美
代表税理士



土屋貴嗣
ヤンゴン副所長

- ・決算・入力代行・給料計算・労務相談・税務相談・M&A
- ・ローカルスタッフの教育・経理代行・会社設立・支店登記



おかげさまで、ミャンマーオフィス開設12年目となります。日本とミャンマー、両面からの税務会計支援が可能です。ミャンマー事業のお悩みにワンストップサービスで、とことん対応!

M&A案件、工場会計承ります

ジャパンアウトソーシングサービス Japan Outsourcing Service Co., Ltd.

Tel +95-9-252405320 (若松) +95-9-404469726 (土屋) Mail japanoutsourcingmyanmar@gmail.com

No.411-412, 4th Floor, Hledan Center, 8 Ward, Kamaryut Township, Yangon, Myanmar.

税務はおまかせ!

ミャンマー Right Hand Associates

検索

価格はこちら

クーデター関連 ニュースまとめ

ミャンマー軍政が総選挙の公正を主張している。各方面から批判が相次ぐなか、選挙は実現できるのだろうか。11月25日までの主なニュースをピックアップする。

[11月25日]

ミャンマー軍政、 台湾問題で日本を批判

国家安全保障平和委員会(SSPC)は11月21日、台湾有事を想定した高市早苗首相の発言を受け、中国の「一つの中国」政策への強い支持を改めて表明した。

SSPC報道官のゾー・ミン・トゥン少将は、「ミャンマー軍トップのミン・アウン・フライン総司令官も中国指導部との会談で同方針を繰り返し確認してきた」と強調。中国の主権と領土保全を支持する立場に変わりはないと主張した。

一方、在ミャンマー中国大使館は24日までに、ゾー・ミン・トゥン少将の発言について「日本にはアジアで犯した罪に対する反省や責任感がない」と引用し、SNSで日本批判を展開した。

米国、ミャンマー人の一時保護資格 を終了。60日後に失効へ

米国政府は11月24日、国内に滞在するミャンマー国民に付与してきた「一時保護資格(TPS)」の延長を行わず、制度を終了すると発表した。

TPSは、武力衝突や災害などにより本国への安全な帰還が困難な外国人に対し、一定期間の在留と就労を認める制度。ミャンマーでは2021年のクーデター後にバイデン政権が初めて付与し、その後1年ごとに更新されてきた。

米国土安全保障省(DHS)は、12月に総選挙の実施が計画されていることや、軍と少数民族武装組織との間で一部地域で停戦合意が成立したことなどを理由に挙げ、「延長の要件を満たさない」と判断したとの声明を発表した。現在、TPSで在留しているミャンマー国民は通知から60日後に資格を失う。対象者は合法的な滞在資格を確保しない限り、米国内に留まることが難しくなる。

在米ミャンマーコミュニティからは、「本国の情勢は依然危険であり、帰国は不可能だ」とし、政府の決定を批判する声が上がっている。

「ミャンマー多民族祭り」開催 NUG駐日代表も出席し連帯訴え

130以上の少数民族が住む多民族国家ミャンマーの文化を紹介し、平和で民主的な国

家樹立を願う「ミャンマー多民族祭り」が11月23日、新宿区の戸山公園で開催された。

2022年に始まり今年で4回目となるイベントには、民主派・国民統一政府(NUG)駐日事務所のソー・バ・ラ・ティン代表のほか、日本の国会議員や自治体関係者も出席した。

ソー・バ・ラ・ティン氏は、「連邦とは多様な民族が対等に協議し、協力して築くものだ。しかしミャンマーでは歴代政権がこれを怠り、いまや武装闘争によって権利を主張せざるを得ない状況にある」と指摘。在日コミュニティが連帯する場として、祭りの意義を強調した。

会場では各民族の伝統舞踊や音楽が披露され、民族料理や特産品の販売も行われた。販売収益はミャンマー国内の避難民支援に充てられるという。



©DVB Burmese News

[11月21日]

ミャンマー国民の5人に1人が 深刻な食料不足

ミャンマーでは、国民の5人に1人が深刻な食料不安に直面していることが、国連人道問題調整事務所(OCHA)が11月16日に発表した最新の情勢報告で明らかになった。特に、40万以上とされる5歳未満の幼児や妊産婦が重度の栄養失調に陥る可能性が高まっているという。

報告書によると、2025年9月～10月の期間に推計1,180万人(人口の22%)が深刻な食料不足に直面。このうち100万人が緊急



©DVB Burmese News



▲以前は、ガソリンスタンド前に給油待ちの渋滞ができていたが、ガソリン価格の下落を受け、今は往来がスムーズだ

支援を要する状況と指摘した。政情不安や経済悪化のほか、今年3月の地震被害が影響し、食料供給は今後さらに悪化する恐れがあるという。

国連食糧農業機関(FAO)と世界食糧計画(WFP)が11月11日に公表した飢餓予測報告でも、ミャンマーは「極めて懸念される食料危機地域」6か所のひとつとして位置付けられている。

ヤンゴンの地区管理事務所 爆発相次ぐ

ヤンゴン管区北オッカラバ郡区のシュエパウカン地区管理事務所で11月19日午後10時ごろ、爆発があった。地元住民によると、関係者の一部が負傷したという。

地下ゲリラ組織のヤンゴン・アーミー(YA)が関与を表明し、軍政が実施する総選挙に関して地区長や軍系暴力集団「ピューソーティ」隊員が会談を行なったタイミングで攻撃したことを明らかにした。

YAは、前日18日にも郊外レグー郡区の地区管理事務所を手りゅう弾で攻撃。少なくとも2人が負傷したとみられる。

市内では複数の地下ゲリラ組織がミャンマー軍関連施設を相次いで攻撃しており、市民に対しこれらの施設への接近を避けるよう呼びかけている。

米議会、ミャンマー情勢に 「強力な行動」を要求

ミャンマーで深刻化する政治・人道危機をめぐり、米国議会の議員らは11月19日、ミャンマー軍政に対し「残された時間はわずかだ」と警告し、米政府に対してより強力な対抗措置を講じるよう求めた。下院外交委員会の東アジア・太平洋小委員会が主催した公聴会で明らかにした。

議員らは、軍が支配地域で12月に実施予定の総選挙について「自由でも公正でもなく、正統性もない偽装選挙だ」と非難。米国として一層厳しい姿勢で臨む必要があると指摘した。

同委員会のヨン・キム委員長は、国内避難民が360万人を超え、バングラデシュへ逃れたロヒンギャ難民が130万人に達するなど人道状況が悪化していることに言及。さらに、軍政と結びついたオンライン詐欺や人身売買が域内に拡大し、中国やロシア

への依存を強めていると懸念を示した。専門家からも、このまま国際社会の行動が不十分ならば「ミャンマーが失敗国家化し、国境を越える犯罪の中心地となり得る」との危機感も示された。

議員らは、軍政の財源となる国営銀行やエネルギー部門への制裁強化、サイバー犯罪・詐欺拠点への対策、人道支援を軍を介さず地域コミュニティ経由で届ける体制の検討などを提案。米政府に対し、より踏み込んだ対応を迫った。

タイ・ミャンマー国境で不法越境摘発急増。最新技術で監視強化

タイ当局は2024年末から、オンライン詐欺や人身売買対策の一環としてミャンマー国境を中心に不法越境者の取締りを強化している。最新鋭のサーマル(熱感知)カメラやドローンを用いた監視体制が導入され、従来の地上巡りに代わり高度な監視が行われているという。

ミャンマーからタイへの不法越境で摘発された人数は、2025年1月～10月の10か月間に1万人を超え、月平均で800～1,000人にのぼる。ミャンマー人支援団体「JACBA (Joint Action Committee for Burmese Affairs)」のウー・モー・ジョー代表は「山林に逃げ込んでもサーマル検知で見つかってしまう。カンチャナブリ県とメーソートを中心に摘発が急増している」と指摘する。

ミャンマーの若者らは、治安悪化や職の欠如、徴兵制度の強化などを背景に国外脱出を図っており、不法越境には最低15,000パーツ(およそ72,500円)が必要で、マレーシアまで到達する場合は8万パーツ(およそ387,000円)を支払うケースもあるという。



©DVB Burmese News

[11月19日]

拘束中のミャンマー映画監督に「報道の自由賞」国境なき記者団

国際NGO「国境なき記者団(RSF、本部パリ)」は11月15日、ミャンマー軍により拘束されているドキュメンタリー映画監督のシン・デヴィ氏に「2025年 報道の自由賞」を授与した。

パリで行われた授賞式には作家のマ・ティタ・サンチャウン氏が代理で出席し、ミャンマーにおける「報道の自由」の深刻な状況について演説。シン・デヴィ氏の早期釈放を求めた。

シン・デヴィ氏は2023年10月15日にヤ

ンゴンで拘束され、2024年1月10日にインセイン刑務所裁判所が反テロ法第50条(j)項および第54条(d)項に基づき終身刑を宣告した。その後今年1月に「独立記念日」の恩赦で懲役15年に減刑されている。

ミャンマーは世界で最も多くのジャーナリストが投獄されている国の一つで、2021年2月のクーデター以降、ジャーナリスト7人が殺害され200人以上が拘束された。現在も、少なくとも51人が拘束されているとみられる。

[11月18日]

ミャンマー軍トップ、KKパークの「徹底掃討」強調

ミャンマー軍トップのミン・アウン・フライン総司令官は11月16日、カイン州の州都パアン訪問時の演説で、同郡区メーソート近郊の犯罪拠点KKパークを「国家的任務として完全に掃討する」と強調した。一方、国家安全保障平和委員会(SSPC)統制下の国境警備隊(BGF)が支配するシュエッココーを含む他の拠点については一切言及しなかった。

KKパークは、BGFと民主カレン仏教徒軍(DKBA)が共同で管理してきたとされ、近年は中国系犯罪ネットワークが多数関与してきた。一方、シュエッココーはBGFの指揮官サオ・チッサー准将と中国人犯罪組織が運営し、東南アジア有数の詐欺拠点として悪名高い。

人権団体「ジャスティス・フォー・ミャンマー(JFM)」は、BGFとその指導者の家族、関連組織が8社以上の企業を通じて詐欺事業に深く関与し、巨額の利益を得ていると指摘。国際社会では欧米各国がBGF幹部に対し制裁を実施しており、タイの裁判所でもサオ・チッサー准将に関連する訴追手続きが進んでいる。

[11月17日]

ミャンマーのネット障害、背後に中国製監視技術の可能性

ミャンマー最大都市ヤンゴンと第2の都市マンダレーで、今月上旬から続くインターネット回線の障害が現在も解消されていない。

ヤンゴンの住民は「午後5時～10時ごろが最も悪く、深夜になってようやく回復する。モバイルデータも同様に不安定だ」と証言。マンダレーでも「Wi-Fiは夜間にはほぼ使えない。モバイルデータは多少は良いが、光回線は特にひどい」との声が上がっている。

一部では、総選挙を目前に控え、当局が監視体制を強化するため中国製監視技術「Geedge Networks」を導入・調整している可能性があるとの見方も広がっている。

ヤンゴン不動産市場、売買停滞も賃貸は安定的に推移

ヤンゴン管区の不動産市場で、物件売買が低迷する状態が続いている。仲介業者に

よると、売買の落ち込みは3か月ほど前から顕著で、外国資本の流入停滞や住民の一時移住の減少などが影響しているという。

一方、賃貸市場は大きな変動は見られず、例年並みの水準を維持している。アパートやコンドミニアムの家賃は月額30万Ks(およそ15,000円)前後からで、立地や広さによっては300万Ks(およそ15万円)近くに達する。タームエ郡区やライン郡区などでは100万Ks(およそ5万円)程度が相場で、シュエビター郡区やラインタヤ郡区では20万Ks(およそ1万円)台から借りられる物件も少なくないという。

土地価格については、南ダゴン郡区の一部区域で1区画の価格が5億Ks(およそ2,500万円)からで、条件によっては数十億Ksに達するなど高騰傾向が続いているという。

仲介業者らは、政治情勢次第で2026年には売買が再び活発化する可能性があるという予測している。

インターネット自由度 ミャンマーと中国が2年連続で最下位

米人権団体のフリーダムハウスは11月13日、「インターネットの自由度(2025年版)」を発表した。

このレポートは、2024年6月から2025年5月までの1年間について評価したもの。レポートは、対象国を「ネットへのアクセス妨害」「コンテンツの規制」「利用者の権利侵害」の観点から評価。70～100点が「自由」、40～69点が「部分的に自由」、39点以下が「自由なし」としている。ミャンマーは9点で、中国とともに2年連続で最下位となった。

自由度の高い上位はアイスランド(94点)、エストニア(91点)、チリ(87点)など。日本は昨年と変わらず8位(78点)だった。

[11月14日]

ヤンゴンの繁華街で集団スリ、警察の対応に不満の声

「ヤンゴンの原宿」とも言われるレーダン周辺で、スリ行為を繰り返す集団が暗躍している。

市民によると、犯行グループはヤンゴン市バス(YBS)に乗り込み、市職員を装った服装で乗客のスマートフォンなどを盗んでいるとみられる。早朝には大学生の通学で混雑することが多く、特に若い女性が被害に遭いやすいという。

ある乗客は「目の前でスマホを抜き取る場面を見たが、怖くて声を上げられなかった。警察に通報しても動いてくれないため、状況は悪化する一方だ」と訴えた。

市民らはカマーユツ郡区警察署に対して取り締まりを求めているが、現時点で効果的な取締りや摘発は行われておらず不満の声が上がっている。

Myan Japo 特製MAP

最新版

地図の記号

- カフェ
- ナイトスポット
- ショッピング
- SPA・マッサージ
- スポーツ施設
- ゴルフ場
- ホテル
- 日本料理屋
- ミャンマー料理屋
- 韓国料理屋
- その他料理
- レジャースポット
- パゴダ・寺院
- 観光地
- オフィス
- 工場
- マンション
- 銀行・両替
- 病院
- 大使館
- 公的機関
- 郵便局
- 学校

以下のサイトからPDF版が
ダウンロードできます
<http://myanmarjapo.com>

ミヤウツカカラバ
မြောက်ကလာပ

ミヤウツダゴン
မြောက်တောင်

マヤンゴン
မြောက်

ミンガラドン
မင်းဂလာတင်

インセイン
အင်းစိန်

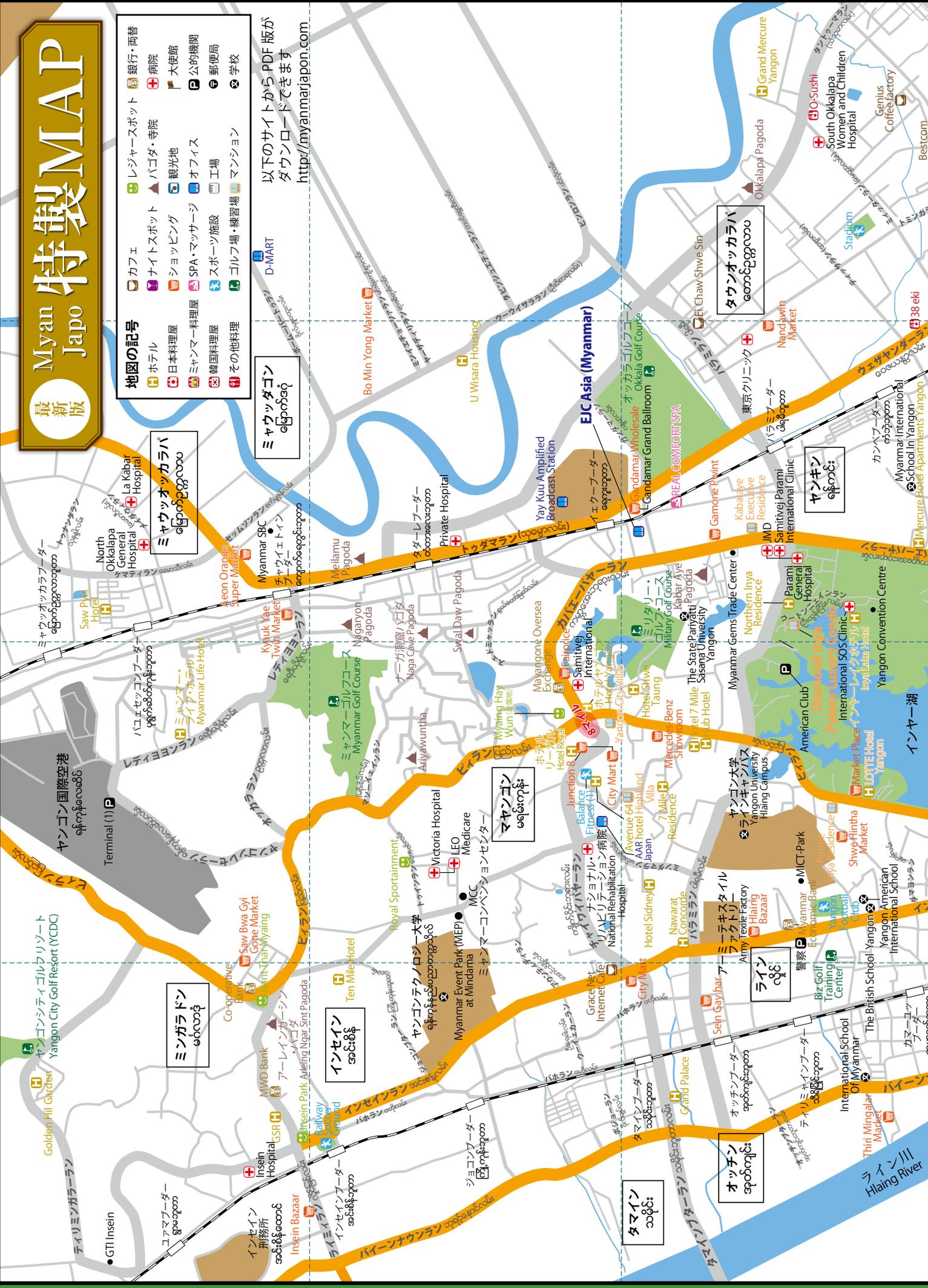
ライン
ရေတပ်

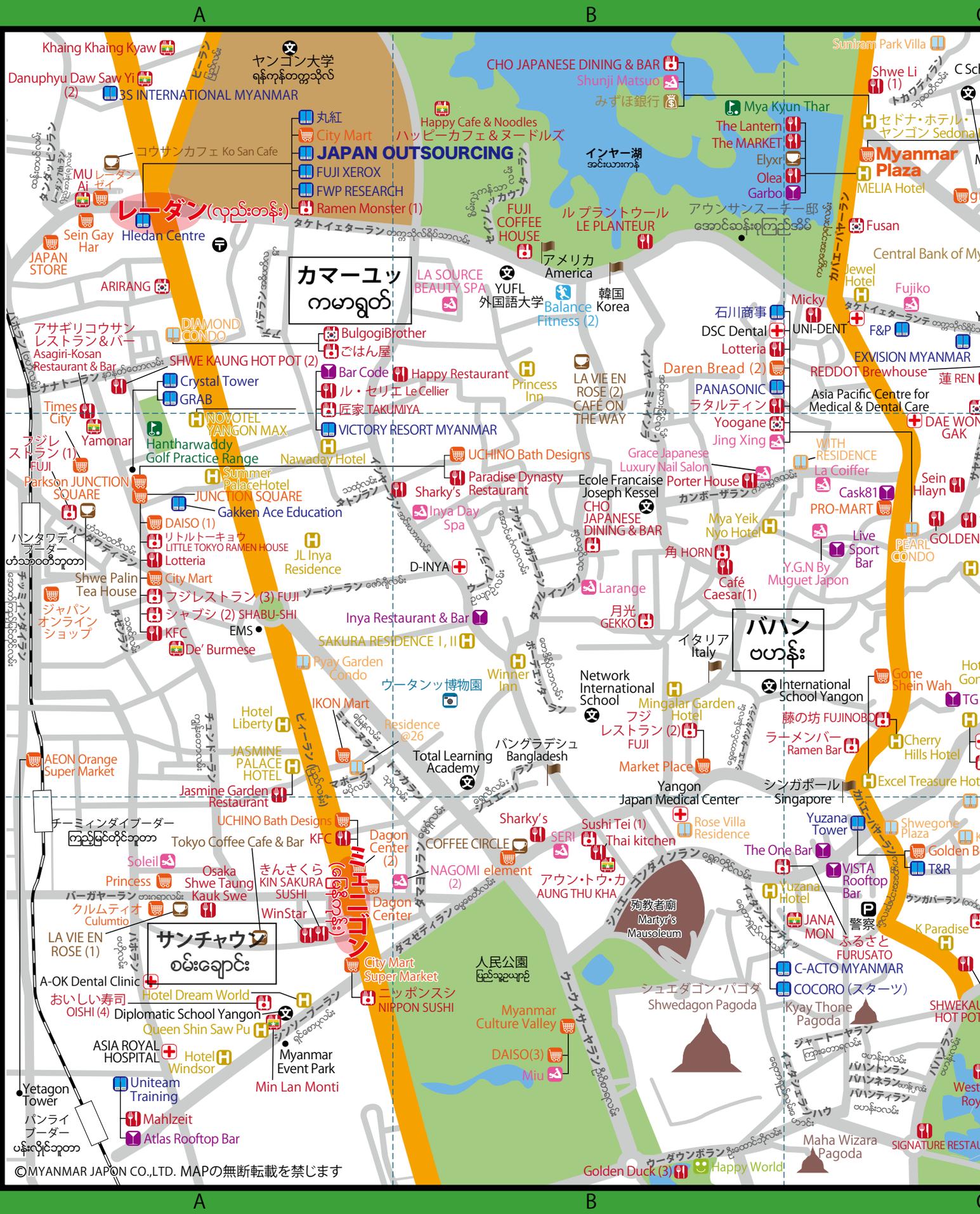
オウチン
အုတ်စင်

タマイン
တမာင်

タウンオウツカカラバ
တောင်ကလာပ

ヤンキン
ရေတပ်







ヤンキン
ရန်ကင်း

ティンガンチュン
သက်န်းကျွန်း

タムエ
တာမေ

チャウミヤウ
(ကျောက်ခြင်း)

ミンガラタウン
မင်္ဂလာတောင်ညွန့်

シュエダゴン・パゴダ周辺
~インヤール湖(南)



A

B



《ミニ知識：ダウンタウンの名称ルール》

ダウンタウンの一部などは碁盤の目になっていてわかりやすい。縦の通りは西から順に東へ数え、原則 2 つの数字の通りを挟んで 1 つの大通り。

ヤンゴンダウンタウン
Downtown of Yangon

© MYANMAR JAPON CO., LTD. MAPの無断転載を禁じます

A

B



A

B

ヤンゴンから
ゴダを南下し
かつては凸凹
スムーズに走

ティラワ経済特別区 (SEZ)

0 500m

地図の記号

- 工場
- オフィス
- 倉庫
- 銀行



※地図上に記載
されている社名
には、建設中・稼働中の双方が
含まれます

ZONE A (405Ha)

1

2

3

ガソリン補給のタンクローリー
で渋滞するため、こちらは通ら
ないのが一般的



A

B

は有名なチャイカウパ
ていくルートが一般的。
だった道路も整備され、
れるようになった



スーパホテル

ANMAR

DAC hcare

WATER PURIFICATION PLANT (浄水施設)

Myarnak

Igeta & Sun (イゲタ金網)

あつみファッション

A & N Food (MYANMAR)

SEWAGE TREATMENT PLANT (浄水施設)

METRO WHOLESALE MYANMAR

YOB

Thilawa Global Logistics (住友商事・上組)

MJTD

スーパーホテル

Guston Amava

Velbon

Pacific-PSP Syntech

SUZUKI

ABBA Aluminium

Fuji Trans Logistics

松永製作所

CRECIMIENTO Industrial Myanmar

SCI Metal Tech (Myanmar)

Myanmar Century Steel Structure Ltd.

王子 Myanmar Packaging

Ball Asia Corp.

PEB Steel Myanmar

C J FOODS

Indorama Ventures

S.P. Pet Pack

Myanmar Ajinomoto Foods

ヤクルト ミャンマー

Cute Myanmar

フジワーク

Diamond Rental

**ZONE B
(101Ha)**

ティラワのランドマーク
である正面ゲート



ZONE A (405Ha)

ZONE B (101Ha)

ティラワ経済特別区(SEZ) ZONE B

地図の記号

- 工場
- オフィス
- 倉庫
- 水処理場

※地図上に記載されている社名には、建設中・稼働中の双方が含まれます

MJTDの前の道を東側に3分ほど進み、一丁目の十字路を右折する

ゾーンBへの入り口は現在こちらののみ。ゾーンAからは車で6、7分ほど

銀行振込対応

法人プレミアム会員をお勧めします

① 最新ニュースやバックナンバーが読み放題

② 記事のリサーチに便利な検索機能

③ 複数ID (アカウント) 割引でさらにお得に

ミャンマージャパン法人

>>> ミャンマー情勢やビジネス環境を把握するなら「プレミアム」が不可欠

世界27カ国にわたる実績あるEJC Asia
海外ネットワークにより、最適で高品質な
物流サービスをご提供いたします。

EJC Asia (Myanmar) Co., Ltd.
Room 8A, No.8, Danatheikdi resident, Danatheikdi street, 8 Quarter,
Mayangone Township, Yangon, 11061, Myanmar
E-mail : info@ejcasia.com Phone : +95-(0)9-421124747(担当:トト)

ミャンマー最新情報を
どこよりも早く!

ビジネスマン必読!
プレミアム会員のメリット

① 最新ニュースが読み放題

② 過去の全ニュースを閲覧可能

③ 全バックナンバーがネットで閲覧可能

7日間無料
いつでも
解約可能!

月額6900円(税込7590円) myanmarjapon.com

弊社は、ミャンマーに本社を置き、日本にも支社を持つITサービス企業です。
ソフトウェア開発、クラウド開発、ITサービス、アバターデザインなど、
幅広いサービスをワンストップで提供しています。



ソフトウェア開発 DX SOLUTION!

ソフトウェア開発とシステム設計

お客様のリクエストに基づいてソフトウェアを開発するだけでなく、システム設計からクラウド（AWSなど）への実装、検証、保守まで、幅広いサービスを提供しています。



ノーコードソリューション

私たちに、Salesforce、Mendix、ThingsBoard、ThoughtSpotなどのノーコードプラットフォームでの開発経験を持つエンジニアが多数在籍しており、迅速にビジネス課題を解決するお手伝いが可能です。



Work For Smile! Work For Happiness!



モバイルAPI開発

私たちの開発チームは、クラウドバックエンドサービスとモバイルフロントエンドを連携させる様々なAPI統合モバイルアプリの開発に特化しており、多様なモバイルアプリの迅速なサポートを提供いたします。



デジタルBPOによる革新的なBPOサービス!

ドキュメントチェックBPOサービス でプロジェクト成功をサポート!



ICTインフラ構築プロジェクトに欠かせない作業完了報告書や完成図書の作成・内容チェックを、専門家チームがワンストップで対応! 弊社のサービスを活用することで、社内に専任チームを設ける必要がなく、必要な時に必要な分だけ柔軟にご利用いただけます。これにより、大幅な固定費削減とプロジェクトの迅速な遂行が実現。確かな品質と効率化を両立した当社のBPOサービスで、ビジネスの新たな可能性を広げませんか?

クラウド基盤の企画から保守まで ワンストップでサポート!



クラウドサービス導入をお考えの企業様に対し、私たちは企画設計から構築、運用、保守までトータルサポートを提供します。専門チームが最適なクラウド環境を設計し、業務効率化とコスト削減を実現。さらに、運用やトラブル対応までお任せいただける安心の体制を整えています。クラウド活用の課題を解決し、スムーズなビジネス成長をサポートします。ぜひ私たちのサービスをご利用ください!

エンジニアリングCAD BPOサービス でプロジェクトを強力サポート!



IT、通信、オフィス装飾、建設など、幅広い業界に対応した高品質なCADサービスを提供します。専門チームがエンジニアリング知識と高度なCADスキルを駆使し、正確で信頼性の高い成果物をお届け。トレース業務から複雑な設計サポートまで、あらゆるニーズに対応します。効率化と高品質を両立する弊社のBPOサービスで、プロジェクト成功を目指しませんか?

アート&デザインBPOサービス で創造をカタチに!



ビジネスから個人まで、あらゆるニーズに応える高品質なアート&デザインサービスを提供。キャラクターアート、イラスト、リギング、アニメーション、ビデオ編集など、

幅広いクリエイティブ業務を専門チームがサポートします。デジタルマーケティングやエンターテインメント、コンテンツ制作業界の多様なニーズに対応し、魅力的な成果をお届け! 新たなアイデアをプロフェッショナルな品質で実現する当社のサービスをぜひご活用ください。

MIYANMAR
 **JAPON**
ONLINE

WEBサイトを開く

<https://myanmarjapon.com/>